

令和4年度の公金運用実績について

本業市では「本業市公金管理方針」を定め、歳計現金等および基金に属する現金について、安全性および流動性を確保した上で、効率的な資金管理と運用に努めています。

令和4年度における歳計現金等および基金の運用実績は次のとおりです。

1 歳計現金等

	令和4年度			令和3年度		
	平均月末残高 (千円)	運用収入 (千円)	運用利回り	平均月末残高 (千円)	運用収入 (千円)	運用利回り
普通預金	738,220	-	-	1,409,801	-	-
定期預金	591,667	12	0.002%	391,667	79	0.020%

2 基金（15基金）

	令和4年度				令和3年度			
	平均月末残高 (千円)	構成比	運用収入 (千円)	運用利回り	平均月末残高 (千円)	構成比	運用収入 (千円)	運用利回り
普通預金	4,468	0.1%	-	-	91,105	1.3%	-	-
定期預金	3,177,973	44.0%	1,591	0.050%	2,881,829	41.0%	776	0.027%
債券	4,034,840	55.9%	74,481	1.846%	4,060,855	57.7%	61,960	1.526%
合計	7,217,281	100.0%	76,072	1.054%	7,033,789	100.0%	62,736	0.892%

※平均月末残高：4月から翌年3月までの各月末残高を12で除したもの

※運用利回り：運用収入を平均月末残高で除したもの

- (1) 「歳計現金等」とは、一般会計および特別会計に属する現金ならびに歳入歳出外現金のことをいう。日々の支払いに充てる資金であるため、常に収支予定を把握することで可能な限り支払準備金を圧縮して余裕資金の増加を図り、定期預金・国庫短期証券により一会計年度内に限り運用をしている。
- (2) 「基金」とは、本業市基金条例により特定の目的のために積み立てられた資金で、取り崩しの計画等に基づき金利変動や金融政策を注視しながら、運用可能額に応じて債券や定期預金で運用している。
- (3) 「債券」とは、国債、政府機関債、地方債および事業債をいう。
- (4) 「普通預金」は、決済用預金（無利息）をいう。